



Buzan  
FUKUSHIMA

福島武山展-赤絵の極み-  
御祝  
林美佳里より







2018年11月



A black folding table with a white top, used as a workspace. On the table are various items: a glass of orange juice on a wooden coaster, a small scale, a palette, brushes, ink, and some papers. A white desk lamp is positioned over the workspace.







SEMPUR TESH  
Pembuat Tesa

SEMPUR TESH  
Pembuat Tesa

SEMPUR TESH  
Pembuat Tesa







【赤絵細描】

# 福島礼子

Reiko Fukushima

平成23年 石川県立九谷焼技術研修所卒  
父福島武山に師事  
平成29年 日本キルンアート協会  
九谷焼上絵付赤絵細描コース講師  
令和元年 伝統九谷焼工芸展優秀賞  
令和3年 伝統九谷焼工芸展 技術賞  
令和4年 伝統九谷焼工芸展優秀賞  
令和6年 伝統工芸士認定

その他 欧州、アジア、オセアニアなど  
石川県訪問団として実演多数





【赤絵細描】

# 福島 武山

Buzan Fukushima



- 昭和38年 石川県立工業高校デザイン科卒業
- 平成14年 第二十五回伝統九谷焼工芸展にて大賞、  
石川県立美術館買い上げ
- 平成27年 エルメス社時計文字盤(駒くらべ)制作  
スイス・パーゼルにて発表
- 平成28年 第一回三井ゴールデン匠賞  
石川県文化功労賞
- 令和3年 春の叙勲にて瑞宝単光章受章







### 現代の九谷焼 赤絵細描の

日本を代表する伝統工芸のひとつである九谷焼の物語は、「土と火の芸術」として知られています。正倉院に伝わる赤絵、黒絵、青絵の技法の粋を集めて「赤絵細描」と呼ばれる、白地に赤い絵柄を施した「赤絵細描」の技法もそのひとつです。赤絵細描は、黒絵の筆を駆使し、赤絵の筆で赤い絵柄を描き出すのが特徴です。この赤絵細描の第一人者である藤島武山さん、武山さんがお一人ご一人の心をこめて土と火の芸術として、この九谷焼に命を吹き込んでくださっています。ぜひご覧ください。



藤島 武山

1944年 新潟県佐和田市に生まれる。新潟県立佐和田高等学校卒業。1964年 新潟県立佐和田高等学校教員。1968年 新潟県立佐和田高等学校教員。1970年 新潟県立佐和田高等学校教員。1972年 新潟県立佐和田高等学校教員。1974年 新潟県立佐和田高等学校教員。1976年 新潟県立佐和田高等学校教員。1978年 新潟県立佐和田高等学校教員。1980年 新潟県立佐和田高等学校教員。1982年 新潟県立佐和田高等学校教員。1984年 新潟県立佐和田高等学校教員。1986年 新潟県立佐和田高等学校教員。1988年 新潟県立佐和田高等学校教員。1990年 新潟県立佐和田高等学校教員。1992年 新潟県立佐和田高等学校教員。1994年 新潟県立佐和田高等学校教員。1996年 新潟県立佐和田高等学校教員。1998年 新潟県立佐和田高等学校教員。2000年 新潟県立佐和田高等学校教員。2002年 新潟県立佐和田高等学校教員。2004年 新潟県立佐和田高等学校教員。2006年 新潟県立佐和田高等学校教員。2008年 新潟県立佐和田高等学校教員。2010年 新潟県立佐和田高等学校教員。2012年 新潟県立佐和田高等学校教員。2014年 新潟県立佐和田高等学校教員。2016年 新潟県立佐和田高等学校教員。2018年 新潟県立佐和田高等学校教員。2020年 新潟県立佐和田高等学校教員。